



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合っしてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「あいさつっていいな」

★今回の道徳の授業のねらい

誰に対しても進んで、気持ちのよい挨拶をしようとする態度を育てます。

★明里さんの授業の様子

あいさつの良さについて考えました。あいさつをされると「気持ちよくなる」と相手の気持ちについても考えることができました。最後には大きな声であいさつの練習をしました。

★家庭で話し合っほしいこと

あいさつは礼儀作法を守ることだけでなく、人間関係をさわやかなものにしてくれる潤滑油のような役割をもっています。「おはよう」「こんにちは」「さようなら」だけでなく、「ありがとう」「ごめんなさい」も、心と心が通じ合えるようなあいさつができること、時と場や状況に応じたあいさつができるようになることが大切です。

あいさつの習慣は、小さいころから、親が子供に範を示しながら根気強く続けることによって身につきます。ご家庭でもあいさつについての意味を話し合っみてください。

★資料名

「うめのき村の四人兄弟」

★今回の道徳の授業のねらい

自分の特徴に気づき、長所を伸ばそうとする心情を育てます。

★優太さんの授業の様子

うめのき村の四人兄弟のよいところをお話や絵から、見つけることができました。1人1人いいところがあることに気づき、自分自身のいいところを見つけることができました。

★家庭で話し合っほしいこと

子供は、一人一人違った個性を持っています。その子らしいよさに気づき、それを生かすことは、これからの人生をより充実したすてきなものにしていきます。しかし、自分のよさにはなかなか気づかないものです。ぜひ、お宅のお子さんらしさを見つけて大いに褒めてあげてください。認めてもらえたうれしい気持ちから、自分のよさに気づき悪いところを直して、よいところをもっと伸ばそうとする心が育ちます。